



IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 機能は、IPv6 ユニキャストトラフィックと IPv6 マルチキャストトラフィックの両方が保護された Generic Routing Encapsulation (GRE) を通過できるようにします。

- [IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の設定方法 \(3 ページ\)](#)
- [IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の設定例 \(11 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(12 ページ\)](#)
- [IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 に関する機能情報 \(13 ページ\)](#)

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の前提条件

- この機能を有効にするには、IPv4 GRE トンネル上で IPsec トンネル保護を設定する必要があります。
- IPv6 マルチキャストを有効にするには、IPv6 マルチキャストルーティングを設定する必要があります。

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の制約事項

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 機能は、IPv4 ポイントツーポイント GRE トンネル保護経由の IPv6 をサポートしますが、IPv4 mGRE トンネル保護経由の IPv6 はサポートしません。

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 に関する情報

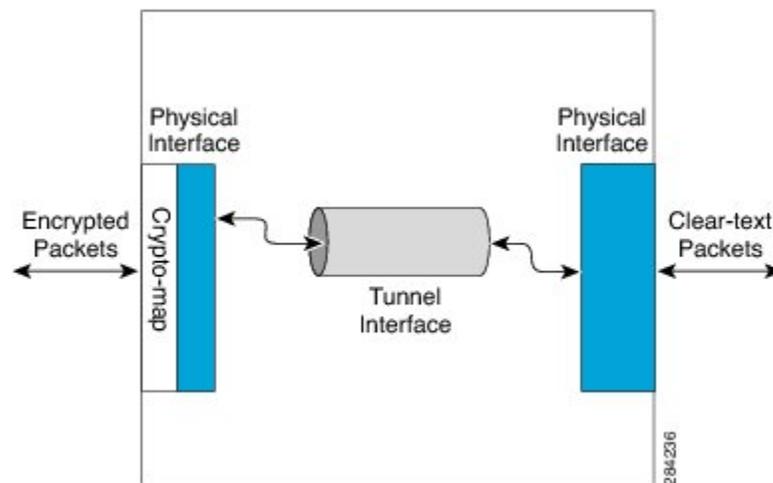
IPsec を使用した GRE トンネル

Generic Routing Encapsulation (GRE) トンネルは、ときどき、IPsec と組み合わせて使用されます。これは、IPsec が IPv6 マルチキャストパケットをサポートしていないためです。これにより、ダイナミックルーティングプロトコルが IPsec VPN ネットワーク経由で正しく機能しません。GRE トンネルは IPv6 マルチキャストをサポートしているため、ダイナミックルーティングプロトコルを GRE トンネル経由で実行できます。ダイナミックルーティングプロトコルが GRE トンネル経由で設定されている場合は、IPsec を使用して GRE IPv6 マルチキャストパケットを暗号化できます。

IPsec は、クリプトマップまたはトンネル保護を使用して GRE パケットを暗号化できます。いずれの方法でも、GRE カプセル化の設定後に、IPsec 暗号化を実行するように指定されます。クリプトマップを使用している場合は、暗号化が GRE トンネルパケット用のアウトバウンド物理インターフェイスに適用されます。トンネル保護を使用している場合は、暗号化が GRE トンネルインターフェイス上で設定されます。

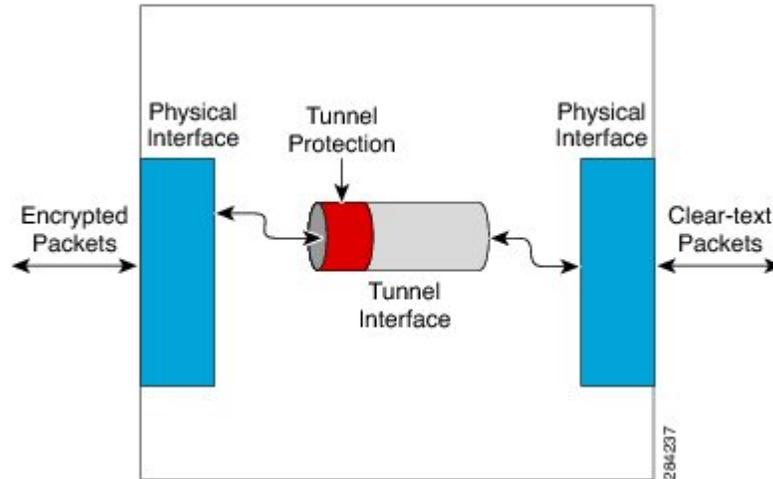
次の図に、物理インターフェイス上でクリプトマップを使用して、GRE トンネルインターフェイス経由でルータに入る暗号化されたパケットを示します。パケットは、復号化およびカプセル化解除されてから、クリアテキストとして IP 宛先に送られます。

図 1: クリプトマップを使用した IPv4 GRE トンネル暗号化経由の IPv6 の設定



次の図に、GRE トンネルインターフェイス上で `tunnel protection` コマンドを使用した暗号化を示します。暗号化されたパケットは、トンネルインターフェイス経由でルータに入り、復号化およびカプセル化解除されてから、クリアテキストとして宛先に送られます。

図 2: トンネル保護を使用した IPv4 GRE トンネル暗号化経由の IPv6 の設定



クリプトマップ方式を使用した場合とトンネル保護方式を使用した場合の重要な違いを以下に示します。

- IPsec クリプト マップは、物理インターフェイスに関連付けられ、パケットが物理インターフェイスを通して転送される時にチェックされます。この時点で、パケットはすでに GRE トンネル内でカプセル化されています。
- トンネル保護は、暗号化機能を GRE トンネルに関連付け、パケットが GRE カプセル化されてから物理インターフェイスに転送されるまでの間にチェックされます。

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の設定方法

クリプト マップを使用した IPv4 GRE 暗号化経由の IPv6 の設定

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ipv6 multicast-routing**
4. **ipv6 unicast-routing**
5. **interface type number**
6. **ipv6 address {ipv6-address/prefix-length | prefix-name sub-bits/prefix-length}**
7. **tunnel mode {aurp | cayman | dvmrp | eon | gre | gre multipoint | gre ip | gre ipv6 | ipip [decapsulate-any] | ipsec ipv4 | iptalk | ipv6 | ipsec ipv6 | mpls | nos | rbsecp}**
8. **tunnel source {ip-address | ipv6-address | interface-typeinterface-number}**
9. **tunnel destination {hostname | ip-address | ipv6-address}**
10. **exit**
11. **crypto isakmp policy priority**

12. **authentication** {*rsa-sig* | *rsa-encr* | *pre-share*}
13. **hash** {*sha* | *md5*}
14. **group** {*1* | *2* | *5*}
15. **encryption** {*des* | *3des* | *aes 192* | *aes 256*}
16. **exit**
17. **crypto isakmp key** *enc-type-digit* *keystring* {*address peer-address* [*mask*] | **ipv6** {*ipv6-address/ipv6-prefix*} | *hostname hostname*} [**no-xauth**]
18. **crypto ipsec transform-set** *transform-set-name transform1* [*transform2*] [*transform3*] [*transform4*]
19. **access-list** *access-list-number* [**dynamic** *dynamic-name* [*timeout minutes*]] {**deny** | **permit**} *protocol source source-wildcard destination destination-wildcard* [**precedence** *precedence*] [**tos** *tos*] [**time-range** *time-range-name*] [**fragments**] [**log** [*word*] | **log-input** [*word*]]
20. **crypto map** [**ipv6**] *map-name seq-num* [**ipsec-isakmp** [**dynamic** *dynamic-map-name* | **discover** | **profile** *profile-name*]]
21. **set peer** {*hostname* [**dynamic**] [**default**] | *ip-address* [**default**]}
22. **set transform-set** *transform-set-name* [*transform-set-name2...transform-set-name6*]
23. **match address** [*access-list-id* | *name*]
24. **exit**
25. **interface** *type number*
26. **crypto map** *map-name* [**redundancy** *standby-group-name* [**stateful**]]
27. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	ipv6 multicast-routing 例： Router(config)# ipv6 multicast-routing	ルータのすべての IPv6 対応インターフェイス上で Protocol Independent Multicast (PIM) とマルチキャストリスナー検出 (MLD) を使用したマルチキャストルーティングを有効にして、マルチキャスト転送を有効にします。 • このコマンドは、IPv6 マルチキャストを使用している場合にのみ有効にします。IPv6 ユニキャストを使用している場合は、このコマンドを有効にしないようにする必要があります。
ステップ 4	ipv6 unicast-routing 例：	IPv6 ユニキャスト データグラムの転送を有効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config)# ipv6 unicast-routing	
ステップ 5	interface <i>type number</i> 例： Router(config)# interface tunnel 10	トンネル インターフェイスおよび番号を指定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 6	ipv6 address { ipv6-address/prefix-length prefix-name sub-bits/prefix-length } 例： Router(config-if)# ipv6 address 0:0:0:7272::72/64	IPv6 の一般的なプレフィックスに基づいて IPv6 アドレスを設定し、インターフェイスにおける IPv6 処理をイネーブルにします。
ステップ 7	tunnel mode { aurp cayman dvmrp eon gre gre multipoint gre ip gre ipv6 ipip [decapsulate-any] ipsec ipv4 iptalk ipv6 ipsec ipv6 mpls nos rbsec } 例： Router(config-if)# tunnel mode gre ip	トンネル インターフェイスのカプセル化モードを設定します。
ステップ 8	tunnel source { ip-address ipv6-address interface-typeinterface-number } 例： Router(config-if)# tunnel source ethernet0	トンネル インターフェイスの送信元アドレスを設定します。
ステップ 9	tunnel destination { hostname ip-address ipv6-address } 例： Router(config-if)# tunnel destination 172.16.0.12	トンネル インターフェイスの宛先を指定します。
ステップ 10	exit 例： Router(config-if)# exit	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了し、グローバルコンフィギュレーションモードに戻ります。
ステップ 11	crypto isakmp policy priority 例： Router(config)# crypto isakmp policy 15	インターネット キー エクスチェンジ (IKE) ポリシーを定義して、ISAKMP ポリシー コンフィギュレーション モードを開始します。 • ポリシー番号 1 は、最もプライオリティが高いポリシーを示します。priority 引数値が低いほど、優先順位が高くなります。
ステップ 12	authentication { rsa-sig rsa-encr pre-share } 例： Router(config-isakmp-policy)# authentication pre-share	IKE ポリシー内の認証方式を指定します。 • rsa-sig キーワードと rsa-encr キーワードは IPv6 でサポートされません。
ステップ 13	hash { sha md5 } 例：	IKE ポリシー内のハッシュ アルゴリズムを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config-isakmp-policy) # hash md5	
ステップ 14	group {1 2 5} 例： Router(config-isakmp-policy) # group 2	IKE ポリシー内部での D-H グループの識別番号を指定します。
ステップ 15	encryption {des 3des aes 192 aes 256} 例： Router(config-isakmp-policy) # encryption 3des	IKE ポリシー内の暗号化アルゴリズムを指定します。
ステップ 16	exit 例： Router(config-isakmp-policy) # exit	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーション モードを終了して、グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 17	crypto isakmp key <i>enc-type-digit keystring</i> { address <i>peer-address [mask]</i> ipv6 { <i>ipv6-address/ipv6-prefix</i> } hostname <i>hostname</i> } [no-xauth] 例： Router(config)# crypto isakmp key cisco-10 address 172.16.0.12 255.240.0.0	事前共有認証キーを設定します。
ステップ 18	crypto ipsec transform-set <i>transform-set-name transform1</i> [<i>transform2</i>] [<i>transform3</i>] [<i>transform4</i>] 例： Router(config)# crypto ipsec transform-set myset0 ah-sha-hmac esp-3des	トランスフォーム セットを定義します。
ステップ 19	access-list <i>access-list-number</i> [dynamic <i>dynamic-name</i>] [timeout <i>minutes</i>] { deny permit } <i>protocol source source-wildcard destination destination-wildcard</i> [precedence <i>precedence</i>] [tos <i>tos</i>] [time-range <i>time-range-name</i>] [fragments] [log [<i>word</i>] log-input [<i>word</i>]] 例： Router(config)# access-list 110 permit gre host 192.168.0.16 host 172.16.0.12	拡張 IP アクセス リストを定義します。
ステップ 20	crypto map [ipv6] <i>map-name seq-num</i> [ipsec-isakmp] [dynamic <i>dynamic-map-name</i> discover profile <i>profile-name</i>]] 例： Router(config)# crypto map mymap 10 ipsec-isakmp	新しいクリプト マップ エントリまたはプロファイルを作成し、クリプトマップ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 21	set peer { <i>hostname</i> [dynamic] [default] <i>ip-address</i> [default]} 例：	クリプト マップ エントリ内の IP Security (IPsec) ピアを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config-crypto-map)# set peer 10.0.0.1	
ステップ 22	set transform-set <i>transform-set-name</i> [<i>transform-set-name2...transform-set-name6</i>] 例： Router(config-crypto-map)# set transform-set myset0	クリプト マップ エントリで使用可能なトランスフォーム セットを指定します。
ステップ 23	match address [<i>access-list-id</i> <i>name</i>] 例： Router(config-crypto-map)# match address 102	クリプト マップ エントリの拡張アクセスリストを指定します。
ステップ 24	exit 例： Router(config-crypto-map)# exit	クリプト マップ コンフィギュレーション モードを終了し、グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 25	interface <i>type number</i> 例： Router(config)# interface ethernet 1	インターフェイスと番号を指定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 26	crypto map <i>map-name</i> [redundancy standby-group-name [stateful]] 例： Router(config-if)# crypto map mymap	定義済みのクリプト マップ セットをアウトバウンド インターフェイスに適用します。
ステップ 27	end 例： Router(config-if)# end	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

トンネル保護を使用した IPv4 GRE 暗号化経由の IPv6 の設定

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ipv6 multicast-routing**
4. **ipv6 unicast-routing**
5. **crypto isakmp policy** *priority*
6. **authentication** {*rsa-sig* | *rsa-encr* | *pre-share*}
7. **hash** {*sha* | *md5*}
8. **group** {*1* | *2* | *5*}
9. **encryption** {*des* | *3des* | *aes* | *aes 192* | *aes 256*}
10. **exit**

11. **crypto isakmp key** *enc-type-digit keystring* {**address** *peer-address* [*mask*] | **ipv6** {*ipv6-address/ipv6-prefix*} | **hostname** *hostname*} [**no-xauth**]
12. **crypto ipsec transform-set** *transform-set-name transform1* [*transform2*] [*transform3*] [*transform4*]
13. **crypto ipsec profile** *profile-name*
14. **set transform-set** *transform-set-name* [*transform-set-name2...transform-set-name6*]
15. **exit**
16. **interface** *type number*
17. **ipv6 address** {*ipv6-address / prefix-length* | *prefix-name sub-bits/prefix-length*}
18. **tunnel mode** {**aurp** | **cayman** | **dvmrp** | **eon** | **gre** | **gre multipoint** | **gre ip** | **gre ipv6** | **ipip**[**decapsulate-any**] | **ipsec ipv4** | **iptalk** | **ipv6** | **ipsec ipv6** | **mpls** | **nos** | **rbscp**}
19. **tunnel source** {*ip-address* | *ipv6-address* | *interface-type interface-number*}
20. **tunnel destination** {*hostname* | *ip-address* | *ipv6-address*}
21. **tunnel protection ipsec profile** *name* [**shared**]
22. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none">パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	ipv6 multicast-routing 例： Router(config)# ipv6 multicast-routing	ルータのすべての IPv6 対応インターフェイス上で Protocol Independent Multicast (PIM) とマルチキャストリスナー検出 (MLD) を使用したマルチキャストルーティングを有効にして、マルチキャスト転送を有効にします。 <ul style="list-style-type: none">このコマンドは、IPv6 マルチキャストを使用している場合にのみ有効にします。IPv6 ユニキャストを使用している場合は、このコマンドを有効にする必要はありません。
ステップ 4	ipv6 unicast-routing 例： Router(config)# ipv6 unicast-routing	IPv6 ユニキャスト データグラムの転送を有効にします。
ステップ 5	crypto isakmp policy <i>priority</i> 例：	IKE ポリシーを定義し、ISAKMP ポリシーコンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config)# crypto isakmp policy 15	ポリシー番号1は、最もプライオリティが高いポリシーを示します。 <i>priority</i> 引数値が低いほど、優先順位が高くなります。
ステップ 6	authentication {rsa-sig rsa-encr pre-share} 例： Router(config-isakmp-policy)# authentication pre-share	インターネット キー エクスチェンジ (IKE) ポリシー内の認証方式を指定します。 • rsa-sig キーワードと rsa-encr キーワードは IPv6 でサポートされません。
ステップ 7	hash {sha md5} 例： Router(config-isakmp-policy)# hash md5	IKE ポリシー内のハッシュ アルゴリズムを指定します。
ステップ 8	group {1 2 5} 例： Router(config-isakmp-policy)# group 2	IKE ポリシー内部での D-H グループの識別番号を指定します。
ステップ 9	encryption {des 3des aes aes 192 aes 256} 例： Router(config-isakmp-policy)# encryption 3des	IKE ポリシー内の暗号化アルゴリズムを指定します。
ステップ 10	exit 例： Router(config-isakmp-policy)# exit	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーション モードを終了します。続いて、グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 11	crypto isakmp key enc-type-digit keystring {address peer-address [mask] ipv6 {ipv6-address ipv6-prefix} hostname hostname} [no-xauth] 例： Router(config)# crypto isakmp key cisco-10 address 172.16.0.12 255.240.0.0	事前共有認証キーを設定します。
ステップ 12	crypto ipsec transform-set transform-set-name transform1 [transform2] [transform3] [transform4] 例： Router(config)# crypto ipsec transform-set myset0 ah-sha-hmac esp-3des	トランスフォーム セットを定義し、ルータを暗号化トランスフォーム コンフィギュレーション モードにします。
ステップ 13	crypto ipsec profile profile-name 例： Router(config)# crypto ipsec profile ipsecprof	2 つの IPsec ルータ間の IPsec 暗号化に使用される IPsec パラメータを定義して、IPsec プロファイル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 14	set transform-set <i>transform-set-name</i> [<i>transform-set-name2...transform-set-name6</i>] 例： Router(ipsec-profile)# set transform-set myset0	クリプト マップ エントリで使用可能なトランスフォーム セットを指定します。
ステップ 15	exit 例： Router(ipsec-profile)# exit	IPsec プロファイル コンフィギュレーション モードを終了し、グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 16	interface <i>type number</i> 例： Router(config)# interface tunnel 1	トンネル インターフェイス および 番号 を指定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 17	ipv6 address { <i>ipv6-address / prefix-length</i> <i>prefix-name sub-bits/prefix-length</i> } 例： Router(config-if)# ipv6 address 3ffe:b00:c18:1::3/127	インターフェイスに割り当てられている IPv6 ネットワークを指定し、インターフェイスで IPv6 処理をイネーブルにします。
ステップ 18	tunnel mode { <i>aurp</i> <i>cayman</i> <i>dvmrp</i> <i>eon</i> gre gre multipoint gre ip gre ipv6 ipip [<i>decapsulate-any</i>] ipsec ipv4 iptalk ipv6 ipsec ipv6 mpls nos rbscp } 例： Router(config-if)# tunnel mode gre ip	GRE IPv6 トンネルを指定します。
ステップ 19	tunnel source { <i>ip-address</i> <i>ipv6-address</i> <i>interface-type interface-number</i> } 例： Router(config-if)# tunnel source 10.0.0.1	トンネル インターフェイスの送信元アドレスまたは送信元インターフェイス タイプと番号を指定します。
ステップ 20	tunnel destination { <i>hostname</i> <i>ip-address</i> <i>ipv6-address</i> } 例： Router(config-if)# tunnel destination 172.16.0.12	トンネル インターフェイスの宛先アドレスまたはホスト名を指定します。
ステップ 21	tunnel protection ipsec profile <i>name</i> [shared] 例： Router(config-if)# tunnel protection ipsec profile ipsecprof	トンネル インターフェイスを IPsec プロファイルに関連付けます。 <ul style="list-style-type: none"> • name 引数には、IPsec プロファイルの名前を指定します。この値は、crypto IPsec profile name コマンドで指定した name と一致する必要があります。 • shared キーワードを指定すると、同じトンネル送信元 IP を設定した複数のトンネルイン

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>ターフェイス間で IPsec セッションを共有できるようになります。</p> <p>(注) IPsec プロファイルのトンネル保護を変更する場合は、まずトンネルインターフェイスをシャットダウンする必要があります。変更が成功したら、トンネル設定を手動でオンにする必要があります。</p>
ステップ 22	<p>end</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-if)# end</pre>	<p>インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。</p>

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 の設定例

クリプト マップを使用した IPv4 GRE 暗号化経由の IPv6 の設定例

```

Router> enable
Router# configure terminal
Router(config)# ipv6 multicast-routing
Router(config)# ipv6 unicast-routing
Router(config)# interface tunnel 10
Router(config-if)# ipv6 address my-prefix 0:0:0:7272::72/64
Router(config-if)# tunnel mode gre ip
Router(config-if)# tunnel source ethernet0
Router(config-if)# tunnel destination 172.16.0.12
Router(config-if)# exit
Router(config)# crypto isakmp policy 15
Router(config-isakmp-policy)# authentication pre-share
Router(config-isakmp-policy)# hash md5
Router(config-isakmp-policy)# group 2
Router(config-isakmp-policy)# encryption 3des
Router(config-isakmp-policy)# exit
Router(config)# crypto isakmp key cisco-10 address 172.16.0.12 255.240.0.0
Router(config)# crypto ipsec transform-set myset0 ah-sha-hmac esp-3des
Router(config)# access-list 110 permit gre host 192.168.0.16 host 172.16.0.12
Router(config)# crypto map mymap 10 ipsec-isakmp
Router(config-crypto-map)# set peer 10.0.0.1
Router(config-crypto-map)# set transform-set myset0
Router(config-crypto-map)# match address 102
Router(config-crypto-map)# exit
Router(config)# interface ethernet1
Router(config-if)# crypto map mymap
Router(config-if)# end

```

トンネル保護を使用した IPv4 GRE 暗号化経由の IPv6 の設定例

次に、IPv4 GRE トンネル上で IPsec トンネル保護を設定する例を示します。IPv6 マルチキャストルーティングは、`ipv6 multicast-routing` コマンドを使用して有効にします。

```
Router> enable
Router# configure terminal
Router(config)# ipv6 multicast-routing
Router(config)# ipv6 unicast-routing
Router(config)# crypto isakmp policy 15
Router(config-isakmp-policy)# authentication pre-share
Router(config-isakmp-policy)# hash md5
Router(config-isakmp-policy)# group 2
Router(config-isakmp-policy)# encryption 3des
Router(config-isakmp-policy)# exit
Router(config)# crypto isakmp key cisco-10 address 172.16.0.12 255.240.0.0
Router(config)# crypto ipsec transform-set myset0 ah-sha-hmac esp-3des
Router(config)# crypto ipsec profile ipsecprof
Router(ipsec-profile)# set transform-set myset0
Router(ipsec-profile)# exit
Router(config)# interface tunnel 1
Router(config-if)# ipv6 address 3ffe:b00:c18:1::3/127
Router(config-if)# tunnel mode gre ip
Router(config-if)# tunnel source 10.0.0.1
Router(config-if)# tunnel destination 172.16.0.12
Router(config-if)# tunnel protection ipsec profile ipsecprof
Router(config-if)# end
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
IPv6 マルチキャストルーティング	『 IPv6 Implementation Guide 』
Cisco IOS コマンド	『 Cisco IOS Master Commands List, All Releases 』
セキュリティ コマンド：コマンド構文の詳細、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト設定、使用上の注意事項、および例	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco IOS Security Command Reference Commands A to C』 『Cisco IOS Security Command Reference Commands D to L』 『Cisco IOS Security Command Reference Commands M to R』 『Cisco IOS Security Command Reference Commands S to Z』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
右の URL にアクセスして、シスコのテクニカルサポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

IPv4 GRE トンネル保護経由の IPv6 に関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。